

一般社団法人

日本テレマン協会

2017 年度 活動報告書



Telemann Institute Japan

## CONTENTS

---

### 4 TOPICS

- 5 日本テレマン協会について
  - 5 日本テレマン協会について
  - 5 テレマンとは
  - 6 延原武春
  - 7 テレマン室内オーケストラ
  - 7 テレマン室内合唱団

### 8 公演記録

- 8 定期演奏会
- 10 マンスリーコンサート
- 13 教会音楽シリーズ・その他の主催公演

### 14 依頼公演について

### 16 学校公演について

### 17 社会的活動について

### 18 年表

### 20 日本テレマン協会後援会について

- 20 役員名簿
- 20 年表
- 21 法人会員
- 21 個人会員

### 22 日本テレマン協会ディスコグラフィー



4月18日 第241回定期演奏会 公演風景



8月20日 夏のクラシックコンサート 公演風景



6月30日 第481回マンスリーコンサート 公演風景



12月11日 大塚国際美術館システィーナ礼拝堂での貸切コンサート 公演風景



11月8日 バロック音楽の魅力 再発見！ リハーサル風景



4月18日 第241回定期演奏会 リハーサル風景



8月5日 なにわの日うえまちコンサート 公演風景



4月24日 第479回マンスリーコンサート 公演風景



2018年1月16日 第247回定期演奏会 リハーサル風景



2018年3月9日 第488回マンスリーコンサート リハーサル風景



10月13日 第244回定期演奏会 リハーサル風景

# TOPICS

## 日本テレマン協会が創立55周年を迎える



日本テレマン協会は、2018年に創立55周年を迎えました。45周年記念事業「ベートーヴェン・ツィクルス」、50周年記念事業「大大阪ターフェル・ムジーク」に続き、55周年記念事業としては「テレマンの街ハンプルクから中之島をウィーンに！」を開催します。18世紀にウィーンで活躍したスヴィーテン男爵をメインテーマに据え、主にC.P.E. バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派の作品を取り上げます。

会場としては創建100周年を迎える大阪市中央公会堂を使用し、定期演奏会4公演と特別公演2公演を開催します。

定期演奏会4公演はウィーン古典派の演目と、毎年継続して演奏しているバッ

ハ作曲「ブランデンブルク協奏曲」全曲を取り上げます。特別公演Vol.1ではショパンとシューマンのピアノ協奏曲を、それぞれエラル社製とイルムラー社製のオリジナル・フォルテピアノを使用して演奏します。特別公演Vol.2ではスヴィーテン男爵が台本を作成し、ハイドンが作曲したオラトリオ「四季」をメイン・プログラムに、北山隆氏プロデュースによるテレマン55リコーダー・オーケストラや高田泰治チェンバロ・リサイタル、テレマン室内オーケストラOB・OGによる弦楽四重奏の公演、安井建築設計事務所代表取締役社長 佐野吉彦氏による講演なども同時に開催します。

## 第九アジア初演百周年記念「よみがえる第九」公演に出演

年末に演奏されることの多いベートーヴェン作曲交響曲第9番「合唱付き」ですが、日本（アジア）での初演は第一次世界大戦中であった1918年6月1日に鳴門市にあった板東俘虜収容所においてドイツ兵捕虜によって実施されました。2018年がこの初演から100周年に当たる年であることから、鳴門市では記念事業として同日の同じ時間帯に板東俘虜収容所跡近くのドイツ館前広場で第九アジア初演百周年記念「よみがえる

第九」公演が実施されることが決定され、延原武春指揮テレマン室内オーケストラが出演しました。

「第九」が初演された当時、ドイツ兵俘虜たちによって他にも多数の音楽が演奏されていたので、その中からシュトラウス作曲歌劇「こうもり」序曲を「第九」の前に演奏しました。

ドイツ館前広場には1200名を超える聴衆と多くの報道陣が詰めかけ、演奏会は盛況のうちに幕を閉じました。



# 日本テレマン協会 について

## 日本テレマン協会について

日本テレマン協会は1963年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・CEO）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの3種類の主催公演を柱として、関西を拠点に50年以上活動し、これまでに文化庁

芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008年には協会創立45周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功労勲章功労十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。

音楽監督・CEO：延原武春

副代表：奥田博子

ヨーロッパ総局長：高野昭夫

ミュージックディレクター：パブロ・エスカンデ

古典鍵盤楽器奏者：高田泰治

ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃

首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンドィース

エグゼクティブ・アドバイザー：和田誠一郎（弁護士）

永重史郎

オフィス・アドバイザー：奥田忠道

アドバイザー：辻一郎（元毎日放送取締役）

和田省一（朝日放送音楽振興会理事長）

笠谷和比古（国際日本文化研究センター名誉教授）

上山信一（東京都顧問 / 大阪府市特別顧問）

事務局長：今井 良

事務局：中田吉美



## テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681年3月14日～1767年6月25日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、彼の名をかかげたグループを結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でもあったようで、バッハの次男の名付け親

でもあり、また自身がハンブルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」を指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ロンドンから様々な珍しい植物をヘンデルは彼宛に送っていたとか。またテレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていることも有名な話です。

バッハ、ヘンデルにとっては「偉大なる先輩」であったテレマン。彼の作品だけではなく、その心意気を伝えたい…それが私たちの使命でもあります。

1963年日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。以来50年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず、その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後が多いに囑望されている。指揮者としてライブツイヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に注がれた。1970年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることとなり、さらにはライブツイヒで開催されたバッハ生誕300周年記念国際音楽祭に日本の団体としては

唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ポルドー等にも招聘され、M. アンドレ、F. アーヨ、M. ラリュエ、J.P. ランバル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセ等とも親しく交流することとなる。延原武春の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台としてテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『ブロッケス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサイア』9種類の異版を1年に一版ごと取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが1982年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲者指定のテンポに従って演奏すること・・・これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、2006年には第九交響曲をクラ



シカル楽器(古典派時代の楽器)で演奏。さらに2008年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙行。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが、その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招かれることもあった。2009年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、2010年～

12年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン：交響曲全曲シリーズを主催。『大阪フィルの次代を拓く』と言って過言ではない名演』と『田園』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないか』(評：故小石忠男/日本経済新聞9月30日夕刊)等と絶賛を博するなど一際大きな話題となった。また、同時期に日本フィル横浜定期演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第1番(第2楽章は初稿)はEXTONレーベルからCD化された。2011年には延原の元に多くのプレイヤーが集う”一日だけのオーケストラ”としてorchestra Japan 2011が結成され、マーラー：交響曲 第4番を演

奏。その演奏はライヴノーツ・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機となってこのオーケストラは2012年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。かつて、アーノクールやガーディナーといった古楽のスペシャリストたちがヨーロッパのモダン・オーケストラから指揮者として招かれるようになったのと似通ったムーブメントが今、延原武春のもとにも起ころうとしている。2016年、日本テレマン協会のCEOに就任。2018年には第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

## テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。「サントリー音楽賞」を受賞した日本初のプロオーケストラでもある(同賞は現在も当協会と東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンディジをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003年にはドイツ

ツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」(会場は大阪倶楽部4階ホール)を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃など

はその代表的な存在として注目を集めている。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウッラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

2018年、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

浅井咲乃 (ソロ・コンサートマスター)
三谷彩佳 (首席第2ヴァイオリン奏者)
姜 隆光 (首席ヴィオラ奏者)
曾田 健 (首席チェロ奏者)
橋本将紀 (首席コントラバス奏者)

## テレマン室内合唱団 Telemann Chamber Chorus

1969年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を続けており、1985年にはドイツで開催された「J.S. バッハ生誕300年記念国祭音楽祭」に招待され、現地新聞等で当時大きな評判となる。カトリック夙川教会に於ける「教会音楽シリーズ」は公演回数180回を数え、当合唱団にとっての最も大きな活躍の場となっている。これまでに、G.F. ヘンデル作曲「メサイア」の9種の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演したシリーズや、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、或いは、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、「延原武春の受難曲シリーズ」などを開催してきた。



松井義知 (団長)
-----------

# 公演記録

平成29年度の公演の合計は、事業計画時の105公演に対して、報告時には118公演となりました。主催公演は、各種公演が計画時よりも微増し、計画時

の25公演に対して報告時には29公演となりました。詳しい内訳は下の通りとなっています。

## 【計画時】

主催公演 25公演  
 定期演奏会 9公演  
 マンスリーコンサート 9公演  
 教会音楽シリーズ 4公演  
 その他 3公演  
 依頼公演 80公演  
 合計 105公演

## 【報告時】

主催公演 29公演  
 定期演奏会 10公演  
 マンスリーコンサート 10公演  
 教会音楽シリーズ 3公演  
 その他 6公演  
 依頼公演 89公演  
 合計 118公演

## 定期演奏会 Subscription Concert

### 第240回定期演奏会 G. Ph. テレマン没後250年

延原武春 オーボエ・リサイタル

日時 2017年4月16日(日) 14時30分開演  
 会場 東京文化会館小ホール  
 曲目 A. ヴィヴァルディ：オーボエ協奏曲ハ長調 RV451  
 T. アルビノーニ：オーボエ協奏曲ニ短調 Op.9 No.2  
 A. マルチェロ：オーボエ協奏曲ニ短調 S.Z799  
 G.Ph. テレマン：  
 オーボエ協奏曲ヘ短調 TWV 51:f1  
 オーボエ・ダモーレ協奏曲イ長調 TWV 51:A2  
 オーボエ協奏曲ホ短調 TWV 51:e1  
 出演 指揮・オーボエ：延原武春  
 テレマン・アンサンブル  
 来場者数 451名  
 備考 延原武春による、50年ぶりの東京文化会館でのリサイタル。



### 第241回定期演奏会 ハイドン 交響曲第94番「驚愕」

日時 2017年4月18日(火) 18時30分開演  
 会場 大阪市中央公会堂中集会室  
 曲目 C.P.E. バッハ：シンフォニアニ長調 Wq.74  
 W.A. モーツァルト：ピアノ協奏曲第16番ニ長調  
 F.J. ハイドン：交響曲第94番ト長調 Hob.I:94  
 出演 指揮：延原武春  
 ヴァイオリン：U. ブンディース  
 フォルテピアノ：高田泰治  
 テレマン室内オーケストラ  
 来場者数 423名  
 備考 首席客演コンサートマスターのブンディース氏を招いてウィーン古典派の演目を取り上げた公演。

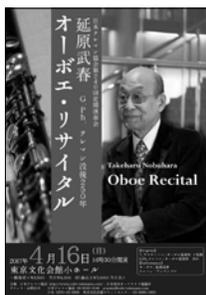
### 第242回定期演奏会 ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」

日時 2017年7月11日(火) 18時30分開演  
 会場 大阪市中央公会堂中集会室  
 曲目 C.P.E. バッハ：シンフォニアト長調 Wq.182-1  
 W.A. モーツァルト：ピアノ協奏曲第17番ト長調  
 L.v. ベートーヴェン：交響曲第6番ヘ長調「田園」  
 出演 指揮：延原武春  
 フォルテピアノ：高田泰治  
 テレマン室内オーケストラ(クラシカル楽器使用)  
 来場者数 500名  
 備考 クラシカル楽器を使用してベートーヴェン作曲「田園」を取り上げた公演。



### 第243回定期演奏会 ベートーヴェン「月光」&「春」

日時 2017年7月16日(日) 14時30分開演  
 会場 東京文化会館小ホール  
 曲目 W.A. モーツァルト：  
 きらきら星変奏曲 Kv265  
 幻想曲ニ短調 Kv397  
 ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 Kv454  
 L.v. ベートーヴェン：  
 ピアノ・ソナタ 第14番嬰ハ短調 op.27-2  
 ヴァイオリン・ソナタ 第5番ヘ長調 op.24「春」  
 出演 フォルテピアノ：高田泰治  
 ヴァイオリン：浅井咲乃  
 来場者数 412名  
 備考 古典派の二重奏曲を取り上げた公演。フォルテピアノはグレーバー製のものを使用。



**第244回定期演奏会 J.S. バッハ ブランデンブルク協奏曲**

日時 2017年10月13日(金) 18時30分開演  
 会場 大阪市中央公会堂中集会室  
 曲目 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲  
 出演 指揮：延原武春 テレマン室内オーケストラ  
 来場者数 500名  
 備考 継続的に開催しているバッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲」全曲公演。人気の高い曲目だけあり、非常に多数の動員がありました。

**第246回定期演奏会**

高田泰治チェンバロ・リサイタル ゴルトベルク変奏曲  
 日時 2017年12月5日(火) 18時30分開演  
 会場 東京文化会館小ホール  
 曲目 J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988  
 出演 チェンバロ：高田泰治  
 来場者数 467名  
 備考 継続的に開催している高田泰治によるバッハ作曲「ゴルトベルク変奏曲」の公演。

**第245回定期演奏会 G.Ph. テレマン没後250年  
 テレマン・プチ・アンサンブル やっぱりテレマン！**

日時 2017年11月19日(日) 14時30分開演  
 会場 東京文化会館小ホール  
 曲目 G.Ph. テレマン：  
 四重奏曲 ト長調 TWV43:G6  
 トリオ・ソナタ ニ短調 TWV42:d7  
 トリオ・ソナタ 変ロ長調 TWV42:B4  
 カンタータ TWV1:119  
 トリオ・ソナタ ニ短調 TWV42:d10  
 リコーダー・ソナタ ヘ長調 TWV41:F2  
 四声部の協奏曲 イ短調 TWV43:a3  
 出演 オーボエ：延原武春 リコーダー：北山 隆  
 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃  
 テノール：新井俊稀 チェロ：曾田 健  
 来場者数 435名  
 備考 テレマン没後250年を記念し、テレマンの作品ばかりを取り上げた公演。

**第247回定期演奏会 モーツァルト 協奏交響曲**

日時 2018年1月16日(火) 18時30分開演  
 会場 大阪市中央公会堂中集会室  
 曲目 F.J. ハイドン：交響曲第103番 変ホ長調「太鼓連打」  
 W.A. モーツァルト：協奏交響曲 変ホ長調 Kv364  
 C.P.E. バッハ：シンフォニア 変ロ長調 Wq.182-2  
 出演 指揮：延原武春  
 ヴァイオリン：浅井咲乃 ヴィオラ：姜 隆光  
 テレマン室内オーケストラ(クラシカル楽器使用)  
 来場者数 418名  
 備考 クラシカル楽器を使用してウィーン古典派の作品を取り上げた公演。ソロ・コンサートマスターの浅井咲乃と首席ヴィオラ奏者の姜隆光によるモーツァルト作曲「協奏交響曲」は、オリジナル楽器による演奏機会の少ない作品で、本公演の目玉となりました。全体的に知名度の比較的低い作品ばかりとなりましたが、演奏の質は高く、モーストリークラシック誌等では高い評価を頂きました。



第248回定期演奏会 「Flauto 集合！」

日時	2018年1月27日(土) 14時30分開演
会場	東京文化会館小ホール
曲目	J.D. ハイニヒェン： 4本のリコーダーのための協奏曲 ハ長調 W.F. バッハ：アダージョとフーガ F.65 J.B. ルイエ：五重奏 ロ短調 J.F. ファッシュ：ソナタ ト長調 FaWV N:G1 J.C. ベツ：シャコンヌ ヘ長調 G.Ph. テレマン：協奏曲 ホ短調 TWV52:e1
出演	ディレクター：北山 隆 お話：延原武春 リコーダーほか：村田佳生・森本英希・出口かよ子 コレギウム・ムジクム・テレマン (バロック楽器使用)
来場者数備考	489名 リコーダー奏者北山隆氏のプロデュースによる笛(Flauto)が活躍する企画。リコーダーだけでなく、ヴォイスフルート等、珍しい楽器も登場しました。

第249回定期演奏会 J.S. バッハ ヨハネ受難曲

日時	2018年3月24日(土) 15時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	J.S. バッハ：ヨハネ受難曲
出演	指揮：延原武春 福音史家：新井俊稀 イエス：篠部信宏 ソプラノ：渡辺有香 カウンターテノール：五十嵐正嗣 テノール：小川 歩 バス：林 康宏 テレマン室内合唱団 コレギウム・ムジクム・テレマン (バロック楽器使用)
来場者数備考	321名 カトリック夙川教会での公演。通常は教会音楽シリーズとして開催していましたが、協会創立55周年を記念し、バロック楽器を使用して定期演奏会として開催しました。

マンスリーコンサート Monthly Concert

第479回マンスリーコンサート テレマン礼賛

G.Ph. テレマンと、その同時代のドイツの作曲家たち	
日時	2017年4月24日(月) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	J.B. バッハ：序曲 第4番 ニ長調 G.F. ヘンデル：四声のための協奏曲 ニ長調 J.D. ハイニヒェン：五声のための協奏曲 ニ長調 J.D. ゼレンカ：七声のための協奏曲の序曲 ヘ長調 J.F. ファッシュ：シンフォニア ニ長調 C. グラウプナー：弦楽のためのソナタ ト長調 G.Ph. テレマン：「食卓の音楽」第3集より 序曲 バロック・ヴァイオリン：ウツラ・ブンディース ディレクター：延原武春 テレマン・アンサンブル
出演	
来場者数備考	186名 ブンディース氏を招いての公演。日本ではマイナーな作曲家ばかりの作品を取り上げましたが、ドイツでは定番のプログラム構成となりました。

第480回マンスリーコンサート

～ブランデンブルク協奏曲5番 本邦初演が大坂であった！～ 「復刻エタ・エーリッヒ=シュナイダー来阪公演」	
日時	2017年5月9日(火) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	J.S. バッハ： チェンバロ協奏曲 第4番 イ長調 BWV1055 イタリア協奏曲 ヘ長調 BWV971 ブランデンブルク協奏曲5番 ニ長調 BWV1050
出演	総合案内役：延原武春・梅岡俊彦 特別講師：佐野吉彦 (安井建築設計事務所 代表取締役社長) 指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 フルート：森本英希 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ
来場者数備考	215名 ブランデンブルク協奏曲5番の日本初演時の公演を再現した公演。





**第481回マンスリーコンサート**  
フランス語で歌うシャンソン Vol.9

日時	2017年6月30日(金) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	<b>【第1部】</b> G. ビゼー：カルメン組曲(弦楽四重奏版) <b>【第2部】</b> 「パリの空の下」「ラ・メール」「フル・フル」 「聞かせてよ愛の言葉を」「人の気も知らないで」 「カラ・イタリア」「あなたのとりこ」「男と女」 「さくらんぼの実る頃」「古きパリの岸辺にて」 「ラスト・ワルツ」「そして今は」 「ブラヴォ・テュ・ア・ガニエ」
出演	ヴォーカル：梨里香・永海孝 指揮：延原武春 ストンプ in KOBE ピアノ：にしかわまこと ベース：堺 重幸 ドラムス：山下嘉範 テレマン・アンサンブル 司会：今井由美
来場者数備考	238名 毎年開催しているフランスのクラシック音楽とシャンソンを取り上げた公演。

**第483回マンスリーコンサート** 円熟のバロック後期より  
～三人の巨匠「バッハ、ヘンデル、テレマン」～

日時	2017年9月22日(金) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	G.Ph. テレマン： 弦楽四声部のための協奏曲 ニ長調 TWV43:D5 ヴィオラ協奏曲 ト長調 TWV51:G9 G.F. ヘンデル： 「調子の良い鍛冶屋」 J.S. バッハ： ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調
出演	ヴァイオリン：Erica Ye Byeol Lee チェンバロ：高田泰治 ヴィオラ：姜 隆光 指揮：延原武春 テレマン・アンサンブル
来場者数備考	211名 韓国からソリストを招いての公演。内容としてはバッハ、ヘンデル、テレマンというバロック後期を代表する3人の作曲家の協奏曲などの作品を取り上げました。

**第482回マンスリーコンサート Flauto 集合!**

日時	2017年8月25日(金) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	J.D. ハイニヒェン： 4本のリコーダーのための協奏曲 G.Ph. テレマン： トリオ・ソナタ ニ短調 TWV42:d10 J.B. ルイエ：五重奏 ロ短調 J.F. ファッシュ：ソナタ ト長調 FaWV N:G1 J.C. ペツ：シャコンヌ ヘ長調 G.Ph. テレマン：協奏曲 ホ短調 TWV52:e1
出演	ディレクター：北山 隆 お話し：延原武春 リコーダーほか：村田佳生・森本英希・出口かよ子 ヴァイオリン：三谷彩佳 テレマン・アンサンブル(バロック楽器使用)
来場者数備考	289名 リコーダー奏者北山隆氏のプロデュースによる笛(Flauto)が活躍する企画。

**第484回マンスリーコンサート**  
G.Ph. テレマン没後250年 18世紀北ドイツの「粋」と「雅」

日時	2017年11月29日(水) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	G.Ph. テレマン： 組曲「昔と今の諸国の人々」 TWV55:G4 2つのヴァイオリンのための協奏曲 TWV52:A2 カンタータ TWV1:119 三重協奏曲 TWV53:E1 組曲「ハンブルクの潮の満干」 TWV55:C3
出演	指揮、オーボエ、オーボエ・ダモーレ：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳 ヴィオラ・ダモーレ：姜 隆光 フルート：森本英希 テノール：新井俊稀 テレマン室内オーケストラ
来場者数備考	198名 テレマン没後250年を記念し、テレマンの作品ばかりを取り上げた公演。



**第485回マンスリーコンサート**  
高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲

日時 2017年12月11日(月) 19時開演  
会場 大阪倶楽部4階ホール  
曲目 J.S. バッハ: ゴルトベルク変奏曲 BWV988  
出演 チェンバロ: 高田泰治  
来場者数 224名  
備考 継続的に開催している高田泰治によるバッハ作曲「ゴルトベルク変奏曲」の公演。



**第486回マンスリーコンサート**  
テレマンのニューイヤーコンサート2017

日時 2018年1月5日(金) 19時開演  
会場 大阪倶楽部4階ホール  
曲目 A. ヴィヴァルディ:  
弦楽のための協奏曲 ハ長調『フランス風』  
H. パーセル: アブデラザール組曲より「ロンドン」  
J. バッヘルベル: カノン ニ長調  
J.S. バッハ: G線上のアリア  
A. ヴィヴァルディ: 「四季」より「春」  
ヴァイオリンとヴィオラによるデュオ・コーナー  
J.S. バッハ:  
オーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調  
管弦楽組曲 第5番  
出演 指揮・オーボエ: 延原武春  
ヴァイオリン: 浅井咲乃 ヴィオラ: 姜 隆光  
テレマン室内オーケストラ  
来場者数 236名  
備考 バロック音楽によるニューイヤーコンサート。ヴィヴァルディ作曲「春」などの有名な作品だけでなく、聴きごたえのある作品も取り上げました。

**第487回マンスリーコンサート**  
ヴァレンタインコンサート「古き良きアメリカ」

日時 2018年2月13日(火) 19時開演  
会場 大阪倶楽部4階ホール  
曲目 【第1部】  
A. ドヴォルザーク:  
弦楽四重奏曲 第12番 ヘ長調「アメリカ」より  
【第2部】  
「Embresable you」「Hellow dolly」「魅惑の宵」  
「ロミオとジュリエット」「踊りあかそう」  
「思い出のサンフランシスコ」「My favorite thing」  
「マイ・ファニー・ヴァレンタイン」  
「Try to remember」「ラヴァーズ・コンチェルト」  
出演 ヴォーカル: 原田紀子・永海孝 指揮: 延原武春  
ストンプ in KOBE  
ピアノ: 高岡正人 ベース: 堺 重幸  
ドラムス: 山下嘉範  
テレマン・アンサンブル 司会: 今井由美  
来場者数 247名  
備考 毎年開催しているアメリカのクラシック音楽とスタンダードJAZZの公演。



**第488回マンスリーコンサート**  
高田泰治チェンバロ・リサイタル

日時 2018年3月9日(金) 19時開演  
会場 大阪倶楽部4階ホール  
曲目 フィッシャー:  
クリオ、オイテルペ(音楽のパルナツス山より)  
クーナウ:  
ソナタ第3番 ヤコブの結婚(聖書ソナタより)  
J.S. バッハ:  
トッカータ 長調 BWV916  
トッカータ 嬰へ短調 BWV910  
フランス組曲 第4番 変ホ長調 BWV815  
出演 チェンバロ: 高田泰治  
来場者数 216名  
備考 高田泰治によるチェンバロ・リサイタル。バッハ以前の作曲家からバッハまでの作品を取り上げました。

## 教会音楽シリーズ Church Concert

### 第185回教会音楽シリーズ

マルティン・ルター宗教改革500周年に寄せて  
G.F.ヘンデル 主は言われた HWV232

日時	2017年6月16日(金) 18時30分開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	G.F.ヘンデル： 主は言われた HWV232 H.シュッツ： 十字架上の七つの言葉 SWV478 J.S.バッハ： ミサ曲ト短調 BWV235
出演	指揮・テノール：新井俊稀 ディレクター：延原武春 ソプラノ：浅野純加・井塚有子・藤田瑞穂 アルト：伊豆田佑香・塩見典子・三好久美子 テノール：小川 歩・後久義昭 バス：塩谷宗広・篠部信宏・林 康宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数備考	249名 ルターの宗教改革から500年を記念し、プロテスタントの作曲家による作品を取り上げました。

### 第186回教会音楽シリーズ Sing in メサイア

日時	2017年11月23日(木・祝) 15時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	G.F.ヘンデル：メサイア HWV56
出演	指揮：延原武春 ソプラノ：上月理沙 アルト：塩見典子 テノール：小川 歩 バス：林 康宏 テレマン室内合唱団+聴衆の皆様 テレマン室内オーケストラ
来場者数備考	267名 毎年開催している聴衆参加型のヘンデル作曲オラトリオ「メサイア」の公演。

### 第187回教会音楽シリーズ

J.S.バッハ クリスマス・オラトリオ

日時	2017年12月25日(月) 18時30分開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	J.S.バッハ： 管弦楽組曲 第3番 ニ長調 BWV1068 ~ 序曲 新しい歌を主にむかって歌え BWV 225 クリスマス・オラトリオ BWV248
出演	指揮：延原武春 指揮・オルガン：パブロ・エスカンデ ソプラノ：高津綾子・渡辺有香 アルト：伊豆田佑香・泉 由香 テノール：新井俊稀 バス：篠部信宏・林 康宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数備考	347名 毎年恒例のクリスマス・オラトリオの公演。前半にはバッハの作品を取り上げました。



## その他の主催公演 Other Concerts

### 日本テレマン協会特別コンサート

日時 2017年 4月28日(金) 18時30分開演  
会場 カトリック夙川教会ブスケホール

### 日本テレマン協会理事会公演

日時 2017年 7月24日(月) 12時開演  
会場 ガスビル食堂

### 丸山耕路ピアノリサイタル(制作公演)

日時 2017年10月21日(土) 14時開演  
会場 東梅田教会

### 高田泰治リサイタル

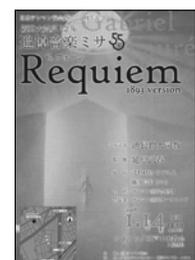
日時 2017年11月11日(土) 15時開演  
会場 稲畑ホール

### 阪神淡路大震災追悼音楽ミサ

日時 2018年 1月14日(日) 14時30分開演  
会場 カトリック神戸中央教会

### 東日本大震災復興祈念コンサート

日時 2018年 3月11日(日) 15時開演  
会場 いずみホール



# 依頼公演 について

自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を90公演開催し、18世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。

単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス（大阪市／ザ・シンフォニーホール）」、「三宝音楽コンサート（川西市）」、「JVC国際協力コンサート（大阪市／いずみホール）」、「ベガメサイア（宝塚市／ベ

ガホール）」、「アバンザ・ランチタイム・コンサート（大阪市／堂島アバンザ）」や「バロックコンサート（池田市／池田市民文化会館）」、「テレマンのバロックの宴（伊丹市／旧岡田家住宅・酒蔵）」、学園前公演（奈良市／学園前ホール）、テレマンコンサート in 中崎公会堂（明石市／中崎公会堂）、ティータイムコンサート（高槻市／高槻現代劇場）、ニューイヤークンサート（堺市／堺市立上神谷支援学校）などとなっており、平成29

年度には新たにクラブツーリズム（株）や朝来市市民文化部芸術文化課等からのご依頼や、韓国の事業者からのご依頼がありました。

内容としては、高田泰治のソロリサイタルから5～6名の室内楽、合唱団と楽団併せて100名程度のもので多岐にわたり、後期バロックから古典派を中心に、幅広いコンテンツを提供致しました。





## 依頼公演の分布（月別）

依頼公演	(主催公演)
4月 10公演	( 4公演)
5月 6公演	( 1公演)
6月 9公演	( 2公演)
7月 8公演	( 3公演)
8月 4公演	( 1公演)
9月 13公演	( 1公演)
10月 14公演	( 2公演)
11月 6公演	( 4公演)
12月 10公演	( 3公演)
(2018年)	
1月 5公演	( 4公演)
2月 2公演	( 1公演)
3月 3公演	( 3公演)
合計 89公演	(29公演)

## 依頼公演の分布（地域別）

北海道	2公演	石川県	4公演	岡山県	
青森県		福井県	6公演	広島県	
岩手県		山梨県		山口県	
宮城県		長野県		徳島県	1公演
秋田県		岐阜県		香川県	
山形県		静岡県		愛媛県	
福島県		愛知県	1公演	高知県	
茨城県		三重県	1公演	福岡県	
栃木県		滋賀県		佐賀県	
群馬県		京都府	13公演	長崎県	
埼玉県		大阪府	28公演	熊本県	
千葉県		兵庫県	19公演	大分県	
東京都		奈良県	4公演	宮崎県	
神奈川県	1公演	和歌山県		鹿児島県	
新潟県		鳥取県		沖縄県	
富山県	4公演	島根県		その他	5公演

# 学校公演 について

依頼公演のうち、33公演は学校を対象とした公演でした。そのうち、文化庁の平成29年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—（以後 文化庁巡回公演）は26公演（13校）あり、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県の学校にて公演いたしました。文化庁巡回公演は鑑賞だけではなく「体験」にも重点を置いた事業であるため、公演に際しては「共演」のプログラムを用意し、事前にワークショップを開催しております。公演の内容は、バロック時代の有名な曲を中心に構成し、鑑賞する児童・生徒に馴染みの深いリコーダーの独奏曲や協奏曲などを取り上げております。基本的

には短い曲が多い構成となっておりますが、プログラムの最後にはJ.S. バッハ作曲「管弦楽組曲 第3番」を全て聴くようになっており、「少し長い曲もきちんと全曲聴く」ということを学べるような構成となっております。また、プログラムにはバロック音楽や楽器についての簡便な説明も掲載しております。（右写真）  
その他の学校公演につきましては、学校様のご要望を取り入れつつ演奏内容を決定しておりますが、主にヴィヴァルディ作曲「四季」全曲等が主なプログラムとなっております。

**出演者**

指揮 / 高田神和  
リコーダー / 村田雄生  
ヴァイオリン / 坂井功乃、三谷彩佳  
ヴィオラ / 藤 隆光

チェロ / 角田 健  
チェンバロ / 高田泰治  
歌・朗読 / 渡辺有香  
テレマン室内オーケストラ

**バロック音楽って何？？**

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」「ロマン派」など、いくつもの種類があります。

「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。日本で言うところのバロック時代の少し前から現在までにあたります。代表的な作曲家はJ.S.バッハ、G.F.ヘンデル、A.ヴィヴァルディ、G.P.テレマンです。

当時では教会、コンサート前のホールではなく、教会や貴族のお屋敷で演奏されてきました。どいつの時代に演奏されたかという点、聴感の違い

の純、真摯のバーレーや楽隊編などです。バロックやヴァルディの作られた音楽は、当時の人々の生活ととても深い関わりのあるものでした。

バロック時代より前は声楽（歌）が活躍していましたが、この時代にヴァイオリンやチェンバロといったたたくさんの楽器が発見し、そのおかげで楽隊やソプラという楽器編がたたくさま

**楽器について**

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。木で出来た胴体には弦が4本張ってあります。弓には馬の尻尾の毛が張ってあり、それを弦を弾いて、弦をこすって音を出します。ヴァイオリンが「一番高い音」、チェロがコントラ

バロックは「一番低」、そしてヴィオラはその中間音を担当します。胴体の大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて胴体の大きくなります。

この写真はチェンバロです。ピアノの発明にあたる楽器です。よく見る

と今のピアノの鍵盤とは似ていますが、ハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは弦を弾いて音を出します。今のピアノと同じく鍵盤で音を出す楽器が発明したのは、バロック時代に始まってからです。

## ◎巡回公演事業とは

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇等の巡回公演を行います。本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演

をより効果的なものとすることができます。普段授業などで使っている体育館が、工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。（文化芸術による子供の育成事業ホームページより）

## 文化庁巡回公演の日程

### 【ワークショップ】

- 6月 7日（水） 富山県 黒部市立宇奈月小学校
- 6月 8日（木） 石川県 小松市立安宅小学校
- 6月 9日（金） 福井県 越前市武生南小学校
- 6月20日（火） 京都府 京都市立朱雀第二小学校
- 7月 5日（水） 京都府 木津川市立上狛小学校
- 7月 7日（金） 京都府 福知山市立天津小学校
- 7月12日（水） 京都府 舞鶴市立吉原小学校
- 7月13日（木） 福井県 小浜市立小浜中学校
- 8月29日（火） 京都府 京都市立羽東師小学校
- 9月 5日（火） 富山県 氷見市立上庄小学校
- 9月 6日（水） 京都府 福知山市立有仁小学校
- 9月21日（木） 石川県 小松市立向本折小学校
- 9月22日（金） 福井県 福井工業大学附属福井中学校

### 【本公演】

- 9月11日（月） 富山県 氷見市立上庄小学校
- 9月12日（火） 富山県 黒部市立宇奈月小学校
- 9月13日（水） 福井県 小浜市立小浜中学校
- 9月14日（木） 福井県 越前市武生南小学校
- 9月15日（金） 京都府 京都市立朱雀第二小学校
- 9月19日（火） 京都府 京都市立羽東師小学校
- 9月20日（水） 京都府 木津川市立上狛小学校
- 10月 2日（月） 福井県 福井工業大学附属福井中学校
- 10月 3日（火） 石川県 小松市立安宅小学校
- 10月 4日（水） 石川県 小松市立向本折小学校
- 10月16日（月） 京都府 舞鶴市立吉原小学校
- 10月17日（火） 京都府 福知山市立天津小学校
- 10月18日（水） 京都府 福知山市立有仁小学校

# 社会的活動 について

## チャリティー協力

日本テレマン協会はこれまで阪神大震災やニューオーリンズのハリケーン、JR福知山線脱線事故メモリアルコンサートのほか、様々な災害へのチャリティーコンサート活動を続けてきました。クラシック音楽のコンサートに対する社会の受け入れ方が年々変化しつつある中で、

人と人をつなぐ場であるという理念を協会としては今後も大切にしてゆくという意味で、「チャリティーコンサート」への参加を積極的にすすめていく方針です。

2017年度のチャリティー協力は以下の通りとなっております。

### KBH 支援のためのチャリティーコンサート Vol.8 「音楽の父バッハ&時代の寵児テレマン」

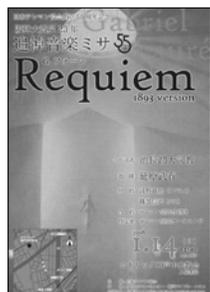
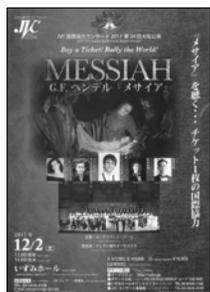
日時	2016年5月8日(日)
会場	カトリック神戸中央教会
曲目	G.Ph. テレマン： 四声のための協奏曲 二長調 2つのヴァイオリンのための協奏曲 イ長調 オーボエ協奏曲 ホ短調 【チェンバロ・コーナー】 J.S. バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調
出演	指揮・オーボエ：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳 テレマン室内オーケストラ

### JVC 国際協力コンサート2017 第24回大阪公演

日時	2017年12月2日(土)
会場	いずみホール
曲目	G.F. ヘンデル：オラトリオ「メサイア」
出演	指揮：B. グッドサン ソプラノ：E. クラッグ カウンターテナー：S. ポンズフォード テノール：新井俊稀 バス：篠部信宏 コードリベット・コール テレマン室内オーケストラ

### 日本テレマン協会特別演奏会 阪神大震災23年追悼音楽ミサ

日時	2018年1月14日(日)
会場	カトリック神戸中央教会
曲目	G. フォーレ：レクイエム 二短調 (1892年版)
出演	指揮：延原武春 司式：池長潤大司教 ソプラノ：浅野純加 バス：篠部信宏 テレマン室内オーケストラ テレマン室内合唱団



## 再生紙の使用

マンスリーコンサート(年間10公演)のチラシ(A4サイズ)及びプログラム(B4サイズ)、定期演奏会(年間10公演)のプログラム(A3サイズ)には、

環境に配慮し、100%リサイクルの再生ケント紙「クラークケント」を使用いたしました。

# 年表

## 1960s

1963

延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。  
(現：テレマン室内オーケストラ)

1965

定期演奏会スタート。

1966

大阪文化祭賞（以後 72 と 82）

1968

マンスリーコンサートスタート（会場は津村別院）

1969

テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体  
「大阪テレマン協会」となる。

## 1970s

1970

音楽クリティッククラブ賞（以後 75 と 76）

1975

大阪府民劇場賞（以後 85）

1977

文化庁芸術祭優秀賞（関西より初受賞）  
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

## 1980s

1981

G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート  
(文化庁芸術祭主催)、出版、レコードを発売。

1982

定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」  
を合唱団・オーケストラ合わせて 100 人で演奏(100 人の第九)。  
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地  
マクテブルクでの公演実現。

1984

マンスリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985

テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツ  
へ演奏旅行。(“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭”に出演)  
サントリー音楽賞（関西より初受賞）

1987

「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドン  
デビュー公演を実現。  
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989

テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズ  
も 100 回記念演奏会を行う。  
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアー  
ズ各都市で公演を行う。

## 1990s

1991

バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が  
発足。サイモン・スタンデイジや中野振一郎主導のもとで、  
様々な試みに着手。海外公演や CD 収録の他、数多くの本邦  
初演・世界初演を行う。  
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に  
公演。(～ 01)

1993

季刊誌「ゲオルク」創刊(～ 03)

1995

G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデ  
ル作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続  
公演。(～ 01)

1999

中野振一郎&コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ  
演奏旅行。

## 2000s

2000

ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講談師・旭堂南左衛門  
が共演。  
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通じた環境改善活  
動に着手。  
小説「延原武春」(作：中野順哉)が東方出版より出版。  
【CD】  
デンオン制作「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」  
リリース。

2002

御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション  
「音楽絵巻」がスタート。  
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分  
ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。  
【CD】  
マイスター・ミュージック制作「ラ・フォリア」リリース。  
【CD】  
「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」リリース。

2003

中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツへ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ 2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」の復元後、世界初演を行う。

【CD】

ライヴノーツ制作「オーボエ協奏曲・バロック名曲集」リリース。

2004

【CD】

「星に願いを」リリース。

2007

ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グランプリ受賞。

2008

協会創立 45 周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用によるこの公演は高く評価されCDに。

【CD】

「テレマン作品集② 7つのトリオ・ソナタ」リリース。

2009

【CD】

「ベートーヴェン・チクルス」リリース。(～ 11)  
延原、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。  
延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ(ベートーヴェン交響曲全曲)が始まる。  
「テレマン室内管弦楽団」改め「テレマン室内オーケストラ」に改称。

2010s

2010

延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を指揮。

2011

コレギウム・ムジクム・テレマン解散。  
「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住のフリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan 2011 を結成し、マーラー交響曲第 4 番を演奏。

【CD】

オクタヴィアレコード制作「ブラームス：交響曲第 1 番」リリース。

【CD】

ライヴノーツ制作「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」リリース。

ウッラ・ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012

延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク交響曲「新世界より」を好演。

【CD】

「マーラー『亡き児を偲ぶ歌』『交響曲第 4 番』」リリース。  
(「レコード芸術」特薦盤)

【CD】

「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」リリース。  
創立 50 周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013

【CD】

「U. ブンディース 高田泰治 J.S. バッハ 6 つのソナタ」リリース。

Orchestra Japan 2011 を再結成し、3月11日にレクイエムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014

ブランデンブルク州知事に対し、J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシリーズ開始。

大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015

【CD】

ライヴノーツ制作「高田泰治 モーツァルト・アルバム」、  
「U. ブンディース 高田泰治 モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ」リリース。

中野、シンポジウム「18歳の選挙権で『機嫌よう暮らす』を考える」を関西領事団とともに開催。

2016

【CD】

ライヴノーツ制作「高田泰治 うつろい」、「高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲」をリリース。

高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。

延原武春が音楽監督兼 CEO に就任。

2017

高田泰治が平成 28 年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。

【CD】

ライヴノーツ制作「U. ブンディース 高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」をリリース。

定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

2018

創立 55 周年記念事業「テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！」を開催。

延原武春指揮テレマン室内オーケストラが、第九アジア初演百周年記念「よみがえる「第九」演奏会」に出演。

# 日本テレマン協会 後援会について

1980年、故鈴木剛氏（元住友銀行頭取）が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

## 役員名簿

会 長	尾崎 裕（大阪ガス）	特別顧問	野村明雄（大阪ガス）
副 会 長	古河久人（住友生命保険） 脇阪聰史（朝日放送）	顧 問	井戸敏三（兵庫県知事） 荒井正吾（奈良県知事） 久元喜造（神戸市長） かれん・ケリー（アメリカ総領事） ヴェルナー・ケーラー（ドイツ総領事） ジャン＝マチュー・ボネル（フランス総領事） ヘラルド・ミヘルス（オランダ総領事） リャボフ・オレグ（ロシア総領事） マルコ・ロンバルディ（イタリア総領事） クリストフ・ドゥ・バツソンピエール（ベルギー大使館公使参事官） ブ・トアン・ハイ（ベトナム総領事） ドゥシット・メーナバン（タイ総領事） 河 泰允（駐大阪大韓民国総領事） 多川俊映（興福寺貫首） 鶴澤寛治（人間国宝 三味線奏者） ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院教授） 池長 潤（カトリック大司教） 千 宗守（武者小路千家家元） 高口恭行（一心寺長老） 小野善康（経済学者） 阿部牧郎（作家） 高木慶子（上智大学グリーンケア研究所） 前田万葉（カトリック大阪大司教）
理 事	福田里香（パナソニック） 原 真一（コーナン建設） 北山 隆（大阪音楽大学名誉教授） 宮島登美子（TMS） 小野敏夫（クラシック音楽興隆会） 室町鐘緒（三菱東京UFJ銀行） 時政幸雄（関西電力） 井上礼之（ダイキン工業） 森川敏雄（三井住友銀行） 佐野吉彦（安井建築設計事務所） 入谷泰生（日本クルーズ客船） 鳥井信吾（サントリーホールディングス） 吉田有宏（千寿製菓） 杉浦 正（共和コーポレーション） 川崎益彦（桜宮ゴルフクラブ） 小谷公穂（大寅蒲鉾）		
監 事	稲畑勝太郎（稲畑産業） 陳 英智（三洋実業）		

## 年表

### 1980s

1980

5月発足。第1回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。

1982

3月、理事会にて顧問の設置が承認され、11月には顧問が決定。

12月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第2代目の会長に就任。

### 1990s

1990

10月、原清氏急逝。

1991

故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第3代目の会長に就任。

1997

7月、大西正文氏が第4代目の会長に就任。

### 2000s

2007

7月、野村明雄氏が第5代目の会長に就任。

### 2010s

2016

7月、尾崎裕氏が第6代目の会長に就任。

## 法人会員

株式会社アークエース	桜宮ゴルフクラブ株式会社	中西金属工業株式会社
株式会社 I H I 関西支社	株式会社産業経済新聞社	医療法人中野クリニック
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	三幸メリヤス株式会社	名古屋 宗次ホール
愛知時計電機株式会社大阪支店	サントリーホールディングス株式会社	南海電気鉄道株式会社
医療法人 友仁会 浅井整形外科	住まいの情報 三宝商会	西日本旅客鉄道株式会社
朝日放送株式会社	J F E エンジニアリング株式会社	日鉄住金 P & E 株式会社
稲畑産業株式会社	J F E スチール株式会社	日本クルーズ客船株式会社
今津建設株式会社	株式会社芝川本店	日本生命保険相互会社
株式会社ウエノテクノロジー	情報技術開発株式会社	株式会社博報堂関西支社
江崎グリコ株式会社	財団法人職業技能振興会	パナソニック株式会社
株式会社エンボウ	新コスモス電機株式会社	阪急電鉄株式会社
大阪ガス株式会社	シンプルライフ 2 1	非破壊検査株式会社
大阪ガス株式会社 東京支社	住友生命保険相互会社	フルライン株式会社
株式会社大林組 大阪本店	千寿製薬株式会社	株式会社三井住友銀行
株式会社カネカ	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	三菱電機株式会社
学校法人からたち幼稚園	ダイキン工業株式会社	株式会社三菱東京 U F J 銀行
関西テレビ放送株式会社	株式会社大広	矢崎エナジーシステム株式会社 大阪支店
関西電力株式会社	株式会社大丸松坂屋百貨店	株式会社安井建築設計事務所
株式会社共和コーポレーション	大和ハウス工業株式会社	一般財団法人山田満音楽芸術振興会
近鉄グループホールディングス株式会社	株式会社竹中工務店	読売新聞大阪本社
株式会社きんでん	株式会社丹陽商会	讀賣テレビ放送株式会社
株式会社クボタ	株式会社帝国ホテル	株式会社りそな銀行
株式会社公益社	株式会社データコントロール	株式会社ロイヤルホテル
鴻池運輸株式会社	株式会社電通 関西支社	ロックペイント株式会社
有限会社神戸楽譜	東京海上日動火災保険株式会社	株式会社ワキタ
株式会社公洋	東京ガス株式会社	匿名 3 社
株式会社コジマ	東邦ガス株式会社	
コーナン建設株式会社	トヨタ L & F 近畿株式会社	
西部ガス株式会社 東京事務所	中井エンジニアリング株式会社	

## 個人会員

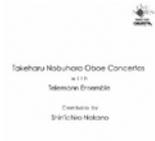
浅沼 健一	小野 敏夫	里見 悦子	竹田 忠士	中西 守	松本 好史	和久 公子
阿部 牧郎	小野 久恵	重森 哲二	田中 佐代	橋本 依子	三木 依子	和田誠一郎
石村 孝夫	梶原 健司	畠田 潤作	田中 正恒	廣川 信一	南 茂夫	匿名 2 8 名
伊藤 康夫	川岸 弘賢	清水 淳彦	津田 直樹	廣瀬 隆平	三宅 成典	
延 敏恵	北浦 告三	杉浦 正	David Jack	福居 誠二	宮本 敏子	
延 秀恵	黒田 千之	直田 春夫	土井 英一	藤田 直照	三好 具子	
大西 國忠	高 仁宝	角南 忠昭	土井 周子	堀 則明	家辺 孝司	
大西 淑子	小林 誠	園崎 明夫	東條 良賢	松倉 英子	山西 昭夫	
岡本 好平	酒井 俊幸	高田 満國	仲窪菜穂子	松倉 孝夫	吉田 好道	
小川 寛	佐藤 晴彦	高橋 香	中島久仁子	松本 哲生	米沢 康	

〈敬称略・順不同〉

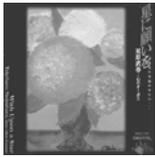
# 日本テレマン協会ディスコグラフィー Discography



- テレマン作品集1  
WWCC-7406  
ディレクター：中野振一郎  
コレギウム・ムジクム・テレマン



- バロック・オーボエ協奏曲名曲集  
WWCC-7432  
オーボエ：延原武春  
テレマン・アンサンブル



- 心のオーボエ  
WWCC-7478  
オーボエ：延原武春  
テレマン・アンサンブル



- 100人の第九  
WWCC-7543  
指揮：延原武春  
テレマン室内オーケストラ



- テレマン作品集2  
WWCC-7567  
オーボエ：延原武春  
リコーダー：北山 隆



- ベートーヴェン  
交響曲 第1番, 第2番  
WWCC-7610  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲 第3番「英雄」, 交響曲 第4番  
WWCC-7622  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲第5番「運命」, 交響曲第6番「田園」  
WWCC-7629  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲第7番, 交響曲第8番  
WWCC-7639  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲第9番「合唱付」  
WWCC-7658  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
「合唱幻想曲」 & 「ミサ曲 ハ長調」  
WWCC-7667  
(クラシカル楽器使用)



- 高田泰治 チェンバロ・アルバム vol.1  
WWCC-7684  
J.S. バッハ：パルティータ 第2番  
イギリス組曲 第2番 ほか



- マーラー 亡き児を偲ぶ歌, 交響曲 第4番ト長調  
WWCC-7695-6 (2枚組)  
指揮：延原武春  
Orchestra Japan 2011



- ヴィヴァルディ  
ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」「四季」  
WWCC-7706  
ヴァイオリン：浅井咲乃



- バッハ 6つのソナタ  
WWCC-7715-6 (2枚組)  
ヴァイオリン：U. ブンディース  
チェンバロ：高田泰治



- 浅井咲乃の「よろこび」と「かなしみ」  
WWCC-7758  
F. クライスラー：「愛の喜び」・「愛の悲しみ」  
J. マスネ：タイスの瞑想曲 ほか



- ブラームス：ドイツ・レクイエム  
WWCC-7778  
指揮：延原武春  
Orchestra Japan 2011



- モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ  
WWCC-7783  
ヴァイオリン：U. ブンディース  
フォルテピアノ：高田泰治



- モーツァルト・アルバム  
WWCC-7788  
フォルテピアノ：高田泰治  
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第14番 ほか



- うつろい  
WWCC-7802  
チェンバロ・フォルテピアノほか：高田泰治  
L.v. ベートーヴェン：「月光」ソナタ ほか



- J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲  
WWCC-7823  
チェンバロ：高田泰治



- 古典派二重奏曲の系譜  
WWCC-7832  
ヴァイオリン：U. ブンディース  
チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治

2017年度版 一般社団法人日本テレマン協会 活動報告書

発行 一般社団法人日本テレマン協会

〒530-0002

大阪市北区曽根崎新地2丁目1-17

TEL06-6345-1046

FAX06-6345-1045

tij@cafe-telemann.com

<http://www.cafe-telemann.com/>

